

月	教材名	時	学習内容	評価基準
4月	見えないだけ	1	1 詩を読み取る。 2 好きな言葉や表現を発表する。 3 詩の特徴を生かして朗読する。	【知・技】 語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態】 進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	アイスプラネット	4	1 作品を通読する。 2 「ぐーちゃん」について整理する。 3 「ぐーちゃん」に対する「僕」の思いを読み取る。 4 「ぐーちゃん」に対する自分の思いをまとめる。 5 学習を振り返る。	【知・技】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C1)ア 【態】 登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	漢字に親しもう1	1	P28「漢字に親しもう1」に取り組む。	【知・技】 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【態】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	【関く】意見を聞き、整理して検討する	1	1 二次元コードの音声を聞いて、水島さんと今西さんの意見と根拠を表で整理し、根拠の適切さを評価する。 2 整理した表を基に、自分はどちらの意見に納得できるか、考える。 3 学習を振り返る。	【知・技】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A1)ア ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A1)エ
	文法への扉1 単語をどう分ける？	1	1 P31の導入や解説を読み、単語がいくつかの観点で分類されることを確かめ、そのうち「自立語」について学ぶことを理解する。 2 P242「文法1 自立語」を読み、自立語の各品詞の性質などについて理解する。	【知・技】 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ 【態】 学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	1	1 提案内容を決める。 2 話の構成や表現を工夫する。 3 プレゼンテーションをする。 4 学習を振り返る。	【知・技】 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(A1)イ ・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A1)ウ 【態】 自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
5月	枕草子 【書く】自分流「枕草子」を書こう	4	1 「枕草子」を朗読し、古文を読み味わう。 2 作者のものの見方や感じ方を読み取る。 3 自分流「枕草子」を書く。 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C1)オ ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア 【態】 文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
	季節のしおり 春	1	春の行事・暦に関わる言葉や、春の情景を詠んだ詩歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
	クマゼミ増加の原因を探る	4	1 本文を通読する。 2 全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。 3 文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。 4 考えたことを話し合う。(課題3) ・筆者は、なぜ結果的に否定された説と、その検証結果も示したのか、考えたことをグループで話し合う。 5 学習を振り返る。	【知・技】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(C1)ア ・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。(C1)ウ 【態】 積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
	情報整理のレッスン 思考の視覚化	2	1 教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。 2 問題1～3に取り組む。 3 学習を振り返る。	【知・技】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【態】 積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。
	情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る	1	1 題材を決め、情報を集める。 2 集めた情報を整理する。 3 紙面構成を考える。 4 紙面を作成する。 5 感想を伝え合う。 6 学習を振り返る。	【知・技】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア 【態】 多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。
	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう2	1	1 教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。 2 練習問題に取り組む。 3 P60「漢字に親しもう2」に取り組む。	【知・技】 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【態】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	短歌に親しむ 短歌の創作教室 短歌を味わう	5	1 P62「短歌に親しむ」を通読する。 2 短歌を音読し、解説の内容を捉える。 3 短歌に用いられた、表現の効果を考える。 4 好きな短歌を選び、感想を書く。(課題3) 5 学習を振り返る。 6 P66「短歌の創作教室」に取り組む。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C1)エ 【態】 表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
言葉の力	2	1 全文を通読する。 2 文章の内容を捉える。(課題1) 3 筆者の考え方を読み取る。(課題2) 4 筆者の考え方について話し合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	【知・技】 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思・判・表】 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C1)オ 【態】 文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	

言葉1 類義語・対義語・多義語 語彙を豊かに	2	1 P72導入の課題に取り組み、言葉どうしの関係性について関心をもつ。 2 教材文を読み、類義語・対義語・多義語について理解する。 3 P74のリード文を読み、抽象的な概念を表す言葉を探す。 4 3で集めた言葉の類義語や対義語を集める。 5 言葉を比べ、用例を考える。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態】今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。
メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる	2	1 メディアを比べて、それぞれの特徴を理解する。 2 災害時の情報収集・情報の読み取りについて考える。 3 情報を受け取る時の留意点を考える。 4 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C1)イ 【態】複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。
読書を楽しむ	1	1 教材文を読み、さまざまな読書活動を知る。 2「ブックトーク」、「読書ポスター」、「読みたい本のリスト」の中から、取り組む活動を選ぶ。 3 選んだ活動に沿って、見通しを立てる。 4 グループごとに活動を行い、感想を発表し合う。	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【態】本や文章などにはさまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。
翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	1	1 二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。 2 翻訳や外国文学について知る。 3 P87「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C1)エ 【態】表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
季節のしおり 夏		・夏の行事・暦に関わる言葉や、夏の情景を詠んだ短歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
ヒューマンイ ド	4	1 全文を通読する。 2 場面の展開に注意して、人物の設定を捉える。 3 過去と現在を結び付けて、登場人物の言動を解釈する。 4 作品を読んで考えたことを語り合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	【知・技】話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C1)イ 【態】登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。
字のない葉書	3	1 全文を通読する。 2 二つの思い出を整理する。(課題1) 3 表現に着目して、人物の人格や心情を読み取る。	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C1)エ 【態】文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	3	1 伝える相手や目的、内容を決める。 2 適切な通信手段を選ぶ。 3 手紙や電子メールを書く。 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア 【思・判・表】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B1)ウ 【態】自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書くようとしている。
【推敲】表現の効果を考える	1	1 遠山さんの手紙の下書きを読み、傍線部①～⑧を書き改める。 2 点線部の⑦について、より効果的な表現を考える。 3 学習を振り返る。	【知・技】 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア 【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B1)エ 【態】進んで文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。1
言葉2 敬語	1	1 導入の例文を読み、敬語の使い方について考える。 2 教材文を読み、敬語の働きや種類について理解する。 3 教材文を読み、敬語の組み合わせについて考える。	【知・技】敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ 【態】今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。 【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア
聞き上手になろう	2	1 インタビューの準備をする。 2 インタビューを行う。 3 学習を振り返る。	【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A1)エ 【態】論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。
漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	1	1 教材文を読み、同じ訓をもつが、意味の異なる漢字(同訓異字)の使い分けについて理解する。 2 教材文を読み、同じ音をもつ漢字から成る言葉(同音異義語)の使い分けについて理解する。 3 P119の練習問題とP120「漢字に親しもう3」に取り組む。	【知・技】 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【態】積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。
モアイは語る —地球の未来	5	1 全文を通読する。 2 文章の構成に着目し、内容を捉える。 3 論理の展開を吟味する。 4 筆者の主張に対する意見を文章にまとめる。(課題3) 5 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。(C1)エ ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C1)オ 【態】論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見直しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
思考のレッスン1 根拠の吟味	1	1 教材文を読み、根拠の適切さの吟味のしかたと、意見の説得力の高め方について理解する。 2 問題1、2に取り組む。 3 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【態】今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く	5	1 課題を決め、調べる。 2 構成を考える。 3 意見文を書く。 4 交流する。 5 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B1)イ 【態】粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見直しをもって意見文を書くようとしている。
聴きひたる 月夜の浜辺	1	1 朗読音声を聴き、言葉の響きやリズムを味わう。 2 表現に着目し、その効果について考える。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。

	季節のしおり 秋		・秋の行事・暦に関わる言葉や、秋の情景を詠んだ短歌や俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
10月	適切な根拠を選んて書こう 意見文を書く	5	1 課題を決め、調べる。 2 構成を考える。 3 意見文を書く。 4 交流する。 5 学習を振り返る。	【知・技】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B1)イ ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B1)ウ  【態】 粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
	聴きひたる 月夜の浜辺	1	1 朗読音声を聴き、言葉の響きやリズムを味わう。 2 表現に着目し、その効果について考える。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態】 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。
	季節のしおり 秋	1	・秋の行事・暦に関わる言葉や、秋の情景を詠んだ詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ →作品中の「秋」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。 【態】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
	音読を楽しむ 平家物語 「平家物語」の世界／「平家物語」の主な登場人物たち	1	1 「平家物語」の冒頭部分を音読し、独特の調子とリズム、言葉の響きを味わう。 2 「『平家物語』の世界」「平家物語」の主な登場人物たち」を読み、「平家物語」の概要や文章の特徴、主要な登場人物やあらすじについて知る。 3 冒頭部分の現代語訳を読み、「平家物語」を貫く「無常観」を知る。 4 冒頭部分の現代語訳を読み、「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。 5 作品を貫く「無常観」と重ねて冒頭部分を朗読する。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア →漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの方や考え方を知っている。(3)イ →冒頭部分の現代語訳を読んで、「無常観」を感じ取っている。 【態】 進んで古典に表れたものの方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。
	扇の的 —— 「平家物語」から	3	1 全文を通読する。 2 「平家物語」の冒頭部分と「扇の的」を繰り返し朗読する。 3 登場人物の言動から、心情を考える。 4 読み取ったことを基に自分の考えを述べる。 5 学習を振り返る。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア →古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの方や考え方を知っている。(3)イ 【思・判・表】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C1)イ 【態】 進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	仁和寺にある法師 ——「徒然草」から 「書く」人物の特徴を捉えて論じよう	3	1 全文を通読する 2 「徒然草」の冒頭部分と「仁和寺にある法師」の原文を朗読する。 3 本文を読み、内容をまとめる。 4 法師と同じような勘違いをした経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合う。 5 学習を振り返る。 6 人物の特徴を捉えて、文章にまとめる。 7 文章を友達と読み合い、学習を振り返る	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの方や考え方を知っている。(3)イ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C1)オ ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B1)イ 【態】 積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
	漢詩の風景	3	1 全文を通読する。 2 漢詩の特徴を生かして朗読する。 3 解説を手がかりに、漢詩を読み味わう。 4 好きな漢詩を選び、その理由を伝え合う。 5 学習を振り返る。	【知・技】 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思・判・表】 「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。(C1)エ 【態】 進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。
11月	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	5	1 全文を通読する。 2 「君は「最後の晩餐」を知っているか」の内容を捉える。 3 文章を比較して、構成や表現の特徴を捉える。 4 考えたことを文章にまとめる 5 学習を振り返る。	【知・技】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C1)イ ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C1)エ 【態】 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。
	思考のレッスン2 具体と抽象	1	1 教材文を読み、具体と抽象について理解する。 2 問題1、2に取り組む 3 学習を振り返る	【知・技】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【態】 学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。
	季節のしおり 冬	1	・冬の行事・暦に関わる言葉や、冬の情景を詠んだ詩歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【態】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
	話し合い（進行）話し合いの流れ整理しよう	1	1 進行役になったつもりで話し合いの様子を視聴する。 2 進行役の最後の発言に続く形で、参加者から出た意見をまとめる。 3 P184下段の「話し合いの流れを整理するために」を参考に、まとめた意見を見直す。 4 見直して気づいたことを手がかりに、話し合いの流れを整理するときに必要なことをグループで話し合う。	【知・技】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア →話し合いで出た意見と意見の間に、どのような関係があるか、整理している。 【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A1)オ →意見の内容や意見どうしの関係に気をつけて、話し合いの流れを整理している。 【態】 話し合いの流れを整理するときに必要なことを進んで考え、今までの学習を生かして話し合おうとしている。
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	2	1 P185の導入や解説を読み、動詞の語の形の変化のしかたに規則性がありそうなることを知る。 2 P246「文法2 用言の活用」を読み、「活用」を読み、「活用」の意味や活用形などの用語、動詞・形容詞・形容動詞の活用について理解する。	【知・技】 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ 【態】 今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。
12月	立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる	4	1 テーマについて情報を集める。 2 立場に分かれ、考えをまとめる。 3 グループで討論する。	【知・技】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A1)オ 【態】 進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。

	漢字に親しもう4	1	1 P190「漢字に親しもう4」に取り組む。	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	「自分らしさ」を認め合う社会へ 父と話せば／六千回のトライの先に 読書案内 本の世界を広げよう	1	1 P192「父と話せば」を通読する。 2 P195「六千回のトライの先に」を通読する。 3 感想を伝え合う。 4 P200「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C1)オ
1月	走れメロス 「書く」作品の魅力をまとめ、語り合おう	8	1 全文を通読する。 2 作品の設定と場面の展開を押さえる。 3 場面の展開に即して人物像を読み取る。 4 作品の魅力をまとめ、語り合う。 5 学習を振り返る。 6 P222「漢字に親しもう5」に取り組む。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C1)イ ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C1)オ ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B1)ウ 【態】登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見直しをもって作品の魅力や文章にまとめようとしている。
	文法への扉 3 一字違いで大違い	2	1 P223の導入や解説を読み、付属語を使い分けることで内容を的確に伝えられることを知り、その働きや種類について学ぶことを理解する。 2 P251「文法3 付属語」を読み、助動詞や助詞の種類や働きについて理解する。	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。(1)オ 【態】今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
	描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く	5	1 題材を決める。 2 設定や構成を考える。 3 物語を書く。 4 作品を読み合う。 5 学習を振り返る。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B1)ウ ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B1)オ 【態】粘り強く描写を工夫し、学習の見直しをもって物語を創作しようとしている。
2月	言葉3 話し言葉と書き言葉	2	1 導入の例文から、話し言葉と書き言葉の違いについて考える。 2 音声の特徴から話し言葉を捉え、文字の特徴から書き言葉を捉える。	【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ 【態】今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
	漢字3 送り仮名	2	1 導入の例から、送り仮名が漢字の読みを明らかに示すために付けられていることを確認する。 2 教材文を読み、送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。 3 P231の練習問題に取り組む	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。
	国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る	4	1 対話を通して考える。 2 コピーにまとめる。 3 コピーの説明を書く。 4 クラスで共有し、交流する。 5 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A1)オ ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B1)オ 【態】粘り強く国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてコピーにまとめてクラスで交流しようとしている。
3月	鍵	2	1 詩を通読する。 2 印象に残った語句や表現を話し合う。 3 表現の意味を考える。 4 作者のものの見方について語り合う。 5 学習を振り返る。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C1)オ 【態】進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。
	国語の力試し		1 P263-266の問題に取り組む。 2 P262の二次元コードから、発展問題に取り組む。 3 振り返る。	【知・技】 ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解している。(1)エ ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C1)ア ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C1)エ ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A1)エ ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B1)ウ ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B1)エ 【態】今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。
合計		140		

評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	定期テスト・小テスト・豆知識(語句)・課題	定期テスト・ワークシート・提出物・課題	ワークシート・ノート・課題 課題の取り組み・授業態度